

西明寺(平等心王院)

天長年間(824~834)空海の弟子智泉が開創。平等心王院ともいう。現在の伽藍は1700年(元禄13)桂昌院の帰依により再建。本尊釈迦如来像(重文)は高さ51センチの小像で、高山寺明恵上人の造頭と伝えられ、胎内に1047年(永承2)の墨書銘が印されている。脇陣に安置されている千手観音像(重文)は平安時代に彫られ、繊細な顔立ちをした立像である。真言宗。紅葉の名所。

建立：832(天長9)年

本尊・釈迦如来立像(運慶作)

真言宗大覚寺派。天長年間(824-834)に弘法大師の高弟智泉大徳が神護寺の別院として創建。その後、荒廃したが、建治年間(1275-78)に和泉国槇尾山寺の我宝自性上人が中興し、本堂・経蔵・宝塔・鎮守などが建てられた。正応3年(1290)平等心王院の号を後宇多法皇より命名賜り、神護寺より独立した。その後焼失したが、慶長7年(1602)に明忍律師により再興され、現在の本堂は、元禄13年(1700)に五代将軍徳川綱吉の生母・桂昌院の寄進により再興された。

【正式名称】西明寺(さいみょうじ)【通称名称】平等心王院(びょうどうしんのういん)【住所】右京区梅ヶ畑槇尾町1【電話番号】075-861-1770【FAX】075-861-2118

市バス 高雄下車 徒歩約10分 JRバス 槇ノ尾下車 徒歩約5分 500円

帰り

西明寺



神護寺

